

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約14年6カ月間（2013年10月28日～2028年5月8日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド (債券マザーファンド)	先進国通貨建ての債券
	ワールド好配当株式 マザーファンド (株式マザーファンド)	イ、海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。） ロ、海外株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ハ、海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ、国内の債券
	先進国REIT マザーファンド (リート・マザーファンド)	イ、先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）または店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ、先進国のリート指数を対象指数としたETF ハ、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ、国内の債券
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ※マザーファンドを通じてETFに投資することがあり、そのETFには、一部日本の資産が組み入れられている場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。 ロ、証券市場のリスクが高まっていると委託会社が判断する局面では、債券の組入比率を高めます。 ハ、株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。 ニ、株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。</p> <p>③債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④債券マザーファンドでは、保有する外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
株式組入制限	債券マザーファンド	純資産総額の10%以下
	株式マザーファンド	無制限
	リート・マザーファンド	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ外国3資産 アロケーション・ファンド (部分為替ヘッジあり)

## 運用報告書(全体版)

### 第4期

(決算日 2017年5月8日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5636>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組 比	公社債 組入率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	税 分	込 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末 (2014年 5 月 8 日)	10,604	0	6.0		23.5	72.8	224
2 期末 (2015年 5 月 8 日)	11,831	0	11.6		38.6	57.2	597
3 期末 (2016年 5 月 9 日)	11,102	0	△ 6.2		37.2	56.8	694
4 期末 (2017年 5 月 8 日)	11,593	0	4.4		34.0	62.8	759

(注 1) 公社債および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

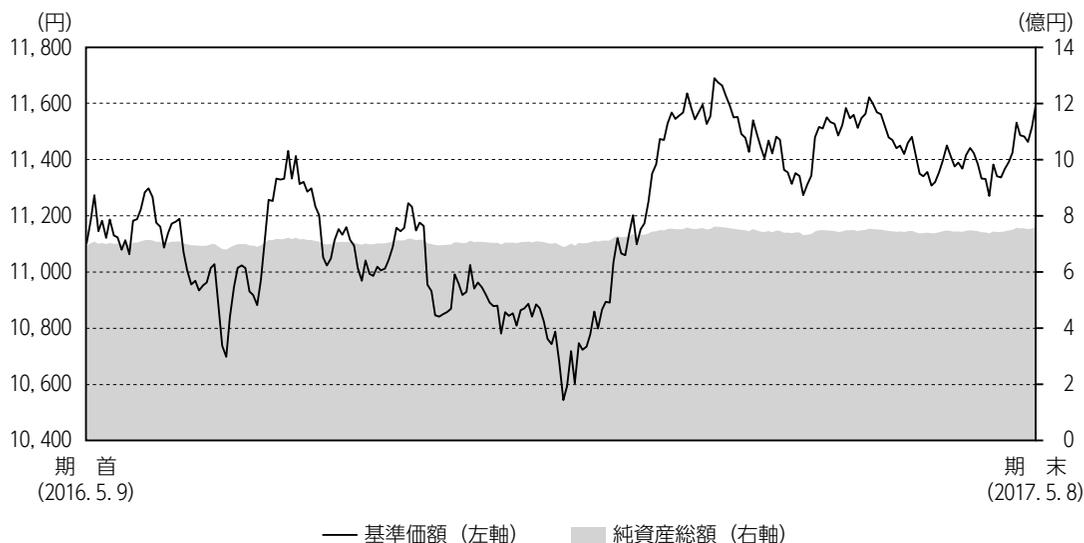
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、各資産クラスへの配分が可変的で適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### 基準価額・騰落率

期首：11,102円

期末：11,593円

騰落率：4.4%

#### 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	△0.9%
ワールド好配当株式マザーファンド	21.3%
先進国REITマザーファンド	1.7%

#### 基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、各資産クラスに投資した結果、主に海外株式市況が上昇したことや為替相場において円安が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率		
(期首) 2016年5月9日	11,102	—	37.2	56.8
5月末	11,298	1.8	37.5	57.9
6月末	10,947	△ 1.4	48.5	42.3
7月末	11,298	1.8	34.0	62.0
8月末	11,158	0.5	33.9	61.6
9月末	10,941	△ 1.5	33.7	61.1
10月末	10,743	△ 3.2	33.9	61.5
11月末	11,133	0.3	34.6	59.6
12月末	11,555	4.1	33.0	62.2
2017年1月末	11,364	2.4	32.6	62.1
2月末	11,548	4.0	32.5	62.6
3月末	11,451	3.1	33.1	62.1
4月末	11,483	3.4	33.6	53.6
(期末) 2017年5月8日	11,593	4.4	34.0	62.8

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

（2016.5.10～2017.5.8）

**海外債券市況**

海外債券市況は、期を通して米国などでは金利が上昇した一方で、英国などでは金利が低下しました。期首より、米国の早期利上げ観測が後退したことや、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから、金利低下圧力が強まりました。2016年9月以降は、ECB（欧州中央銀行）の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感が強まったことなどから、金利は上昇しました。12月以降は、米国の早期利上げ観測の強まりやユーロ圏の消費者物価の伸びの加速などが金利上昇の材料となった一方で、フランス大統領選挙の先行き不透明感が高まったことやシリアおよび北朝鮮情勢に対する警戒感が強まったことなどが金利低下の材料となり、おおむね方向感のない推移となりました。

**海外株式市況**

海外株式市況は、期首より、原油価格の上昇や英国のEU離脱に関する世論調査で残留支持派が増加したことを好感し、上昇して始まりました。2016年6月下旬に英国の国民投票で予想に反してEU離脱派が多数となると欧州情勢への懸念が高まり一時的に急落しましたが、その後は英国および各国の中央銀行が政策協調を表明したことが好感されて落ち着きを取り戻し反発しました。11月に入ると、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで新政権の政策への期待から米国市場を中心に上昇に転じました。2017年1月以降は、トランプ大統領が石油パイプラインの建設を前進させる大統領令に署名したことや大型減税を示唆したことなど景気拡大への期待が高まったことなどを背景に、市況の上昇基調は継続しました。4月以降は、朝鮮半島の緊迫化など地政学リスクへの警戒感を背景に神経質な展開となりましたが、フランス大統領選挙の第1回投票が世論調査通りの結果となり安心感が広がると、市況は期末にかけて上昇しました。

**海外リート市況**

海外リート市況は、アジアを除き米国等の金利上昇を受けて期を通じては下落しました。

米国およびカナダリート市況は、2016年5月下旬から、好調なリートの決算や堅調な雇用を受けた米国都市部の住宅価格上昇などが好材料となり上昇しました。しかし8月からは、米国の年内利上げ観測が強まったことから売られる展開となりました。その後は、11月にトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことを受けて、インフラ（社会基盤）投資や減税といった景気刺激策への期待を背景に緩やかな上昇に転じました。期末にかけては、トランプ政権に対する政策期待は根強いものの、利上げ懸念がくすぶり方向感のない動きとなりました。

欧州リート市況は、期首より、ドイツおよびフランスなどで英国のEU離脱派の勝利後にオフィス移転期待などで一時買われた局面はありましたが、ECBの金融緩和策縮小に対する思惑やイタリアの政治的混乱と不良債権問題を受けて、2016年10月以降は軟調に推移しました。その後も、長期金利の影響により一進一退の値動きとなりました。期末にかけては、フランス大統領選挙の初回投票の結果を受けた安心感で上昇しました。英国は、2016年6月の英国のEU離脱派の勝利によるオフィス需要の減少が懸念されたことから、大幅に売られました。2017年2月以降は、英ポンド安等により海外投資家から見た割安感が強まったことで買い戻されました。

アジア・オセアニアリート市況は、香港では、深セン・香港コネクト（深センと香港証券取引所の相互取引制度）の開始を期待した資金流入で、2016年6月から7月にかけて大幅に上昇しました。10月以降は、香港およびシンガポールで、長期金利上昇の影響および中国政府が不動産市場の投機抑制に動いたことから軟調な推移となりましたが、2017年に入ると、自国金利が低下に転じたことなどを好感して上昇に転じました。オーストラリアは、期首から好調な住宅関連需要などを受け上昇しましたが、2016年8月以降は長期金利が上昇基調だったことから軟調に推移しました。2017年に入ると、好調な国内景気を背景に買い戻されました。

### ■為替相場

為替相場は、2016年6月ごろに、米国の早期利上げ観測の後退や、英国の国民投票の結果を受けたリスク回避姿勢の動きから、米ドルやユーロに対して円高傾向での推移となりました。7月に入るといったんは円安となりましたが、日銀の金融政策決定会合で政策金利が据え置かれたことが市場の失望を誘い、再び円高が進行しました。その後は横ばい程度の推移でしたが、11月に米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことや12月の米国の利上げにより米国金利が上昇し、円安となりました。2017年に入ると、トランプ政権に対する期待感の後退や欧州の政治情勢の不透明感などから円高傾向となりました。4月ごろには欧州の政治リスクが後退したことから円安に転じました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和投資信託が判断する局面では、債券の組入比率を高めめます。ワールド好配当株式マザーファンド（株式マザーファンド）および先進国REITマザーファンド（リート・マザーファンド）の合計組入比率ならびにダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド（債券マザーファンド）の組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

米国は緩やかな景気回復が継続しており、欧州は、短期的に英国のEU離脱問題など政治面での不安材料には留意が必要ですが、ECBによる量的金融緩和策が株式市場にとってサポート材料になると考えています。中国など新興国株式市場が落ち着きを見せ始めていることも投資環境を見る上で好材料と考えます。当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

### ■先進国REITマザーファンド

海外先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に日本を除く先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

### ■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更しました。証券市場のリスクが高まっていると判断する局面では、債券の組入比率を高めました。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内としました。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等としました。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

ファンド規模が一定水準に達するまでE T Fでの運用が合理的であると考え、流動性や配当利回り等を勘案し、VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF とISHARES INTERNATIONAL SELECT を組み入れました。株式組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

### ■先進国R E I Tマザーファンド

期を通じて原則として先進国リート組入比率を純資産総額の96~98%台として運用を行ないました。ポートフォリオの構築にあたっては、日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざしました。具体的には、一定以上の流動性があるS & P先進国R E I T指数（除く日本）構成銘柄の中から50銘柄程度を選定し、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円ベース）の値動きを考慮してポートフォリオを構築しました。結果として時価総額の大きいリートを主としたポートフォリオとなりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2016年5月10日 ～2017年5月8日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,647

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和投資信託が判断する局面では、債券の組入比率を高めめます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

米国は良好な雇用環境を背景に景気拡大が続いています。欧州は、景気回復が着実に進展する中、フランス大統領選挙で事前の世論調査通りにマクロン氏が勝利したことで当面の政治リスクは軽減されました。中国は5年に一度の共産党大会を秋に控え政治動向が注目されますが、欧米を中心に良好な投資環境は継続すると考えています。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

### ■先進国REITマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。リートの組入比率は、期を通じて原則として95%以上で運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 5. 10～2017. 5. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	163円	1.454%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,205円です。
（投信会社）	(78)	(0.700)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(78)	(0.700)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0.070	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(8)	(0.070)	
有価証券取引税	4	0.034	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(4)	(0.034)	
そ の 他 費 用	18	0.162	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.090)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(7)	(0.064)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	193	1.721	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2016年5月10日から2017年5月8日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	99,259	113,568	93,890	105,062
先進国REIT マザーファンド	88,704	128,534	68,287	96,664
ダイワ先進国債券 （為替ヘッジあり） マザーファンド	131,316	150,586	146,246	169,220

（注）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	181,753	187,122	251,249
先進国REIT マザーファンド	142,543	162,960	242,696
ダイワ先進国債券 （為替ヘッジあり） マザーファンド	243,659	228,729	259,379

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド好配当株式マザーファンド	251,249	32.8
先進国REITマザーファンド	242,696	31.7
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり） マザーファンド	259,379	33.8
コール・ローン等、その他	13,445	1.7
投資信託財産総額	766,770	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.74円、1カナダ・ドル＝82.52円、1オーストラリア・ドル＝83.47円、1香港ドル＝14.48円、1シンガポール・ドル＝80.16円、1イギリス・ポンド＝146.10円、1スウェーデン・クローネ＝12.80円、1ポーランド・ズロチ＝29.42円、1ユーロ＝123.68円です。

（注3）ワールド好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（247,780千円）の投資信託財産総額（252,552千円）に対する比率は、98.1%です。

先進国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,490,465千円）の投資信託財産総額（2,563,077千円）に対する比率は、97.2%です。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（436,565千円）の投資信託財産総額（443,060千円）に対する比率は、98.5%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>766,770,755円</b>
コール・ローン等	12,149,852
ワールド好配当株式 マザーファンド（評価額）	251,249,300
先進国REIT マザーファンド（評価額）	242,696,420
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり） マザーファンド（評価額）	259,379,183
未収入金	1,296,000
<b>(B) 負債</b>	<b>6,990,949</b>
未払解約金	1,617,665
未払信託報酬	5,343,644
その他未払費用	29,640
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>759,779,806</b>
元本	655,388,989
次期繰越損益金	104,390,817
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>655,388,989口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	11,593円

\*期首における元本額は625,624,912円、当期中における追加設定元本額は111,115,452円、同解約元本額は81,351,375円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,593円です。

■損益の状況

当期 自2016年5月10日 至2017年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,551円
受取利息	285
支払利息	△ 4,836
(B) 有価証券売買損益	41,456,805
売買益	53,123,158
売買損	△ 11,666,353
(C) 信託報酬等	△ 10,575,840
(D) 当期損益金 (A+B+C)	30,876,414
(E) 前期繰越損益金	△ 147,039
(F) 追加信託差損益金	73,661,442
(配当等相当額)	( 39,923,952)
(売買損益相当額)	( 33,737,490)
(G) 合計 (D+E+F)	104,390,817
次期繰越損益金 (G)	104,390,817
追加信託差損益金	73,661,442
(配当等相当額)	( 39,923,952)
(売買損益相当額)	( 33,737,490)
分配準備積立金	34,296,456
繰越損益金	△ 3,567,081

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：39,247円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	73,661,442
(d) 分配準備積立金	34,296,456
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	107,957,898
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	107,957,898
(h) 受益権総口数	655,388,989口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

## 運用報告書 第4期（決算日 2017年5月8日）

（計算期間 2016年5月10日～2017年5月8日）

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
運用方法	<p>①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおいて、先進国とはシティ世界国債インデックス（除く日本）構成国をいい、先進国通貨とはインデックス構成国の通貨をいいます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 投資対象は先進国の政府（州政府を含みます。）、先進国の政府関係機関、国際機関および事業会社等が発行する先進国通貨建ての債券とします。事業会社が発行する債券の格付けは、取得時においてAA格相当以上（ムーディーズでAa3以上またはS&amp;PでAA-以上）とします。 ロ. ポートフォリオの修正デュレーションは10（年）程度以内とします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>⑤為替変動リスクを低減するため、外貨建資産については為替ヘッジを行ないます。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

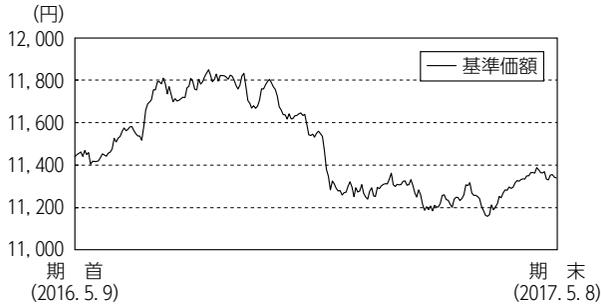
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) (参考指数)		公社債 組入 比率	債券 先物 比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %		
(期首)2016年5月9日	11,440	—	11,472	—	92.7	—
5月末	11,443	0.0	11,475	0.0	96.1	—
6月末	11,698	2.3	11,727	2.2	96.5	—
7月末	11,773	2.9	11,779	2.7	97.5	—
8月末	11,821	3.3	11,805	2.9	96.7	—
9月末	11,789	3.1	11,783	2.7	96.0	—
10月末	11,540	0.9	11,533	0.5	97.7	—
11月末	11,322	△ 1.0	11,310	△ 1.4	100.0	—
12月末	11,363	△ 0.7	11,317	△ 1.4	96.7	—
2017年1月末	11,191	△ 2.2	11,183	△ 2.5	94.0	—
2月末	11,304	△ 1.2	11,298	△ 1.5	93.6	—
3月末	11,291	△ 1.3	11,275	△ 1.7	95.2	—
4月末	11,354	△ 0.8	11,335	△ 1.2	97.7	—
(期末)2017年5月8日	11,340	△ 0.9	11,309	△ 1.4	99.5	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,440円 期末：11,340円 騰落率：△0.9%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入が基準価額のプラス要因となりましたが、米国などで債券価格が下落したことが基準価額のマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

海外債券市況は、期を通して米国などでは金利が上昇した一方で、英国などでは金利が低下しました。期首より、米国の早期利上げ観測が後退したことや、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから、金利低下圧力が強まりました。2016年9月以降はECB（欧州中央銀行）の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感が強まったことなどから、金利は上昇しました。12月以降は、米国の早期利上げ観測の強まりやユーロ圏の消費者物価の伸びの加速などが金利上昇の材料となった一方で、フランス大統領選挙の先行き不透明感が高まったことやシリアおよび北朝鮮情勢に対する警戒感が強まったことなどが金利低下の材料となり、おおむね方向感のない推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  
また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  
また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	9 (8)
(その他)	(0)
合 計	9

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

# ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

## ■売買および取引の状況

### 公 社 債

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

		買付額	売付額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル 1,537	千アメリカ・ドル 1,724 ( — )
		社債券	— 90 ( — )
外	イギリス	千イギリス・ポンド 114	千イギリス・ポンド 191 ( — )
		特殊債券	千スウェーデン・クロネ 2,496 ( — )
国	ポーランド	千ポーランド・ズロチ 566	千ポーランド・ズロチ — ( — )
		国債証券	千ユーロ 215 ( — )
	ユーロ (ベルギー)	千ユーロ 299	千ユーロ 74 ( — )
	ユーロ (フランス)		

		買付額	売付額
外	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 7 ( — )
	ユーロ (スペイン)	千ユーロ 479	千ユーロ 312 ( — )
国	ユーロ (イタリア)	千ユーロ 694	千ユーロ 604 ( — )
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 1,689	千ユーロ 1,555 ( — )

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
(注4) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2% 2025/12/1	45, 114	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/5/31	43, 876
Kommuninvest I Sverige AB (スウェーデン) 1% 2021/9/15	30, 185	Belgium Government Bond (ベルギー) 0.8% 2025/6/22	36, 578
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	28, 316	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	30, 795
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2022/5/15	23, 437	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2% 2025/12/1	28, 029
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.625% 2018/6/30	23, 101	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.75% 2019/2/15	22, 990
Belgium Government Bond (ベルギー) 0.8% 2025/6/22	22, 351	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.625% 2018/6/30	22, 436
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2023/5/15	21, 867	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.875% 2017/5/15	16, 680
FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 3.25% 2021/10/25	20, 531	SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 4.1% 2018/7/30	15, 168
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/5/31	19, 630	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.5% 2017/7/31	14, 082
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3% 2045/11/15	19, 023	Belgium Government Bond (ベルギー) 2.25% 2023/6/22	13, 672

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,345	千アメリカ・ドル 1,352	千円 152,490	% 35.3	% —	% 25.9	% 7.7	% 1.6
カナダ	千カナダ・ドル 107	千カナダ・ドル 112	9,304	2.2	—	0.7	0.7	0.8
イギリス	千イギリス・ポンド 143	千イギリス・ポンド 167	24,521	5.7	—	4.5	0.5	0.6
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 2,400	千スウェーデン・クローネ 2,472	31,647	7.3	—	—	7.3	—
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 600	千ポーランド・ズロチ 575	16,920	3.9	—	3.9	—	—
ユーロ (アイルランド)	千ユーロ 50	千ユーロ 55	6,856	1.6	—	1.6	—	—
ユーロ (ベルギー)	千ユーロ 190	千ユーロ 208	25,796	6.0	—	6.0	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 200	千ユーロ 220	27,305	6.3	—	1.4	5.0	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 51	千ユーロ 71	8,845	2.0	—	2.0	—	—
ユーロ (スペイン)	千ユーロ 448	千ユーロ 476	58,937	13.6	—	3.3	8.2	2.1
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 504	千ユーロ 545	67,418	15.6	—	10.4	5.2	—
ユーロ (小 計)	1,443	1,577	195,161	45.1	—	24.6	18.4	2.1
合 計	—	—	430,045	99.5	—	59.7	34.7	5.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	290	287	32,464	2022/05/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.0000	300	296	33,474	2019/11/30
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	290	284	32,124	2023/05/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.3750	90	112	12,661	2039/11/15
		US Treasury Inflation Indexed Bonds	国債証券	0.2500	40	40	4,575	2025/01/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.0000	155	155	17,484	2045/11/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	120	113	12,778	2026/02/15
		General Electric Capital Corp	社 債 券	5.6250	30	31	3,523	2018/05/01
		Westpac Banking Corp	社 債 券	2.2500	30	30	3,404	2018/07/30
通貨小計	銘柄数	9銘柄						
	金 額			1,345	1,352	152,490		
					千カナダ・ドル	千カナダ・ドル		
カナダ		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.4000	35	37	3,090	2019/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	15	16	1,368	2024/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.4500	17	18	1,512	2045/06/02
		Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	2.1710	40	40	3,333	2018/04/02
通貨小計	銘柄数	4銘柄						
	金 額			107	112	9,304		
					千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド		
イギリス		United Kingdom Gilt	国債証券	2.0000	60	65	9,526	2025/09/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	1.5000	15	15	2,288	2021/01/22
		United Kingdom Gilt	国債証券	4.5000	10	14	2,088	2034/09/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	3.5000	40	54	7,953	2045/01/22
		GE Capital UK Funding	社 債 券	4.1250	18	18	2,664	2017/09/28
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金 額			143	167	24,521		
					千スウェーデン・クローネ	千スウェーデン・クローネ		
スウェーデン		Kommuninvest I Sverige AB	特殊債券	1.0000	2,400	2,472	31,647	2021/09/15
通貨小計	銘柄数	1銘柄						
	金 額			2,400	2,472	31,647		
					千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ		
ポーランド		Poland Government Bond	国債証券	2.5000	300	275	8,108	2027/07/25
		Poland Government Bond	国債証券	3.2500	300	299	8,811	2025/07/25
通貨小計	銘柄数	2銘柄						
	金 額			600	575	16,920		
					千ユーロ	千ユーロ		
ユーロ (アイルランド)		IRISH TREASURY	国債証券	3.4000	20	24	2,975	2024/03/18
		IRISH TREASURY	国債証券	2.4000	10	11	1,397	2030/05/15
		IRISH TREASURY	国債証券	2.0000	20	20	2,483	2045/02/18
国小計	銘柄数	3銘柄						
	金 額			50	55	6,856		
					千ユーロ	千ユーロ		
ユーロ (ベルギー)		Belgium Government Bond	国債証券	0.8000	120	122	15,210	2025/06/22
		Belgium Government Bond	国債証券	1.6000	10	9	1,177	2047/06/22
		Belgium Government Bond	国債証券	3.0000	60	76	9,408	2034/06/22
国小計	銘柄数	3銘柄						
	金 額			190	208	25,796		

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ (フランス)		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千ユーロ 150	千ユーロ 173	千円 21,418	2021/10/25
		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.2500	50	47	5,886	2026/11/25
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			200	220	27,305	
ユーロ (ドイツ)		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.7500	千ユーロ 31	千ユーロ 45	5,607	2028/07/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.5000	20	26	3,238	2044/07/04
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			51	71	8,845	
ユーロ (スペイン)		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.1500	千ユーロ 110	千ユーロ 114	14,159	2020/07/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.7500	90	92	11,422	2021/07/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.4000	80	80	9,909	2022/04/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.5000	40	39	4,921	2027/04/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2000	8	10	1,257	2037/01/31
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.1000	70	73	9,125	2018/07/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.4000	30	36	4,564	2023/10/31
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	5.1500	20	28	3,578	2044/10/31
国小計	銘柄数 金 額	8銘柄			448	476	58,937	
ユーロ (イタリア)		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.3500	千ユーロ 20	千ユーロ 20	2,524	2022/04/15
		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	160	161	19,954	2025/12/01
		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	0.6500	130	131	16,231	2020/11/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	5.0000	22	28	3,551	2034/08/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	4.7500	17	21	2,607	2028/09/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	4.7500	30	38	4,731	2044/09/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	4.5000	95	113	13,991	2024/03/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	1.5000	30	30	3,825	2019/08/01
国小計	銘柄数 金 額	8銘柄			504	545	67,418	
通貨小計	銘柄数 金 額	26銘柄			1,443	1,577	195,161	
合 計	銘柄数 金 額	47銘柄					430,045	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2017年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 430,045	% 97.1
コール・ローン等、その他	13,014	2.9
投資信託財産総額	443,060	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.74円、1カナダ・ドル=82.52円、1イギリス・ポンド=146.10円、1スウェーデン・クローネ=12.80円、1ポーランド・ズロチ=29.42円、1ユーロ=123.68円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(436,565千円)の投資信託財産総額(443,060千円)に対する比率は、98.5%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>867,555,180円</b>
コール・ローン等	8,922,134
公社債（評価額）	430,045,927
未収入金	424,578,266
未収利息	3,309,257
前払費用	699,596
<b>(B) 負債</b>	<b>435,286,163</b>
未払金	435,286,090
その他未払費用	73
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>432,269,017</b>
元本	381,185,638
次期繰越損益金	51,083,379
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>381,185,638口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	11,340円

\*期首における元本額は382,745,312円、当期中における追加設定元本額は149,878,497円、同解約元本額は151,438,171円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）49,374,967円、ダイワ外国3資産バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）103,081,232円、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）228,729,439円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,340円です。

### ■損益の状況

当期 自2016年5月10日 至2017年5月8日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>8,407,331円</b>
受取利息	8,413,506
支払利息	△ 6,175
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 10,130,873</b>
売買益	98,854,554
売買損	△ 108,985,427
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 320,535</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 2,044,077</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>55,117,782</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 23,763,829</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>21,773,503</b>
<b>(H) 合計（D+E+F+G）</b>	<b>51,083,379</b>
次期繰越損益金（H）	51,083,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ワールド好配当株式マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2017年5月8日)

(計算期間 2016年5月10日～2017年5月8日)

ワールド好配当株式マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ） ロ. 海外株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券
運 用 方 法	①主として、海外株式、海外株式の指数を対象指数としたETF、海外株式を対象とした株価指数先物取引および残存期間の短いわが国の債券に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ※一部日本の株式を含む指数を対象とするETFを組み入れる場合があります。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に投資します。 ロ. 配当の質の高い企業を選定します。 ハ. 配当利回りの水準、時価総額規模、流動性を勘案します。 ニ. 定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮します。 ③運用の効率化を図るため、海外株式を対象とした株価指数先物取引を利用することがあります。このため、株式およびETFの組入総額ならびに株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

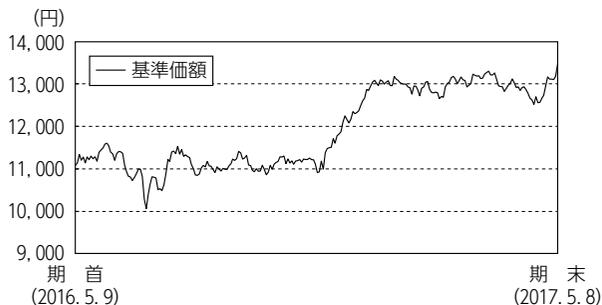
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,065円 期末：13,427円 騰落率：21.3%

【基準価額の主な変動要因】

海外のETF（上場投資信託証券）を通じて株式に投資した結果、株式部分では米国を中心に海外株式が上昇したことがプラス要因となりました。また、為替が対米ドルで円安となったこともプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○海外株式市況

海外株式市況は、期首より、原油価格の上昇や英国のEU（欧州連合）離脱に関する世論調査で残留支持派が増加したことを好感し、上昇して始めました。2016年6月下旬に英国の国民投票で予想に反してEU離脱派が多数となると欧州情勢への懸念が高まり一時的に急落しましたが、その後は英国および各国の中央銀行が政策協調を表明したことが好感されて落ち着きを取り戻し反発しました。11月に入ると、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで新政権の政策への期待から米国市場を中心に上昇に転じました。2017年1月以降は、トランプ大統領が石油パイプラインの建設を前進させる大統領令に署名したことや大型減税を示唆したことなど景気拡大への期待が高まったことなどを背景に、市況の上昇基調は継続しました。4月以降は、朝鮮半島の緊迫化など地政学リスクへの警戒感を背景に神経質な展開となりましたが、フランス大統領選挙の第1回投票が世論調査通りの結果となり安心感が広がると、市況は期末にかけて上昇しました。

○為替相場

為替相場は、2016年6月ごろに、米国の早期利上げ観測の後退や、英国の国民投票の結果を受けたリスク回避姿勢の動きから、円高傾向での推移となりました。7月に入るといったんは円安となりましたが、日銀の金融政策決定会合で政策金利が据え置かれたことが市場の失望を誘い、再び円高が進行しました。その後は横ばい程度の推移でしたが、11月に米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことや12月の米国の利上げなどを背景に円安となりました。2017年に入ると、トランプ政権に対する期待感の後退や欧州の政治情勢の不透明感などから円高傾向となりました。4月ごろには欧州の政治リスクが後退したことから円安に転じました。

◆前期における「今後の運用方針」

米国は緩やかな景気回復が継続しており、欧州は、短期的に英国のEU離脱問題など政治面での不安材料には留意が必要ですが、ECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和策が株式市場にとってサポート材料になると考えています。中国など新興国株式市場が落ち着きを見せ始めていることも投資環境を見る上で好材料と考えます。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

◆ポートフォリオについて

ファンド規模が一定水準に達するまでETFでの運用が合理的であると考え、流動性や配当利回り等を勘案し、VANGUARD HIGH DVD YIELD ETFとISHARES INTERNATIONAL SELECTを組み入れました。株式組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

年月日	基準価額		MSCIコクサイ指数 (円換算)		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2016年5月9日	11,065	—	11,872	—	95.2
5月末	11,586	4.7	12,522	5.5	95.9
6月末	10,617	△ 4.0	11,309	△ 4.7	94.4
7月末	11,251	1.7	12,007	1.1	95.7
8月末	11,215	1.4	11,951	0.7	95.1
9月末	10,977	△ 0.8	11,654	△ 1.8	93.7
10月末	11,201	1.2	11,866	△ 0.0	94.0
11月末	12,152	9.8	12,938	9.0	96.7
12月末	12,937	16.9	13,727	15.6	94.3
2017年1月末	12,850	16.1	13,687	15.3	95.3
2月末	12,947	17.0	13,942	17.4	96.7
3月末	13,094	18.3	14,046	18.3	96.0
4月末	13,089	18.3	14,098	18.8	95.2
(期末) 2017年5月8日	13,427	21.3	14,418	21.5	96.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIコクサイ指数(円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIコクサイ指数(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

米国は良好な雇用環境を背景に景気拡大が続いています。欧州は、景気回復が着実に進展する中、フランス大統領選挙で事前の世論調査通りにマクロン氏が勝利したことで当面の政治リスクは軽減されました。中国は5年に一度の共産党大会を秋に控え政治動向が注目されますが、欧米を中心に良好な投資環境は継続すると考えています。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りははじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	10円 (10)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	27 (3) (24)
合 計	37

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況  
投資信託証券

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 19.6 ( — )	千アメリカ・ドル 841 ( — )	千口 17.5 ( — )	千アメリカ・ドル 695 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	買 付	口 数	金 額		売 付	口 数	金 額
VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF (アメリカ)	千口 6.2	千円 47,917	平均単価 円 7,728	ISHARES INTERNATIONAL SELECT (アメリカ)	千口 12.8	千円 38,690	平均単価 円 3,022
ISHARES INTERNATIONAL SELECT (アメリカ)	13.4	41,446	3,093	VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF (アメリカ)	4.7	35,289	7,508

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ワールド好配当株式マザーファンド

### ■組入資産明細表 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF	9,393	10,893	847	95,532
ISHARES INTERNATIONAL SELECT	39,095	39,695	1,294	145,981
合計	□数、金額	48,488	50,588	2,142 241,513
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<96.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年5月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託証券	241,513	95.6%
コール・ローン等、その他	11,038	4.4
投資信託財産総額	252,552	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.74円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(247,780千円)の投資信託財産総額(252,552千円)に対する比率は、98.1%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月8日現在

項目	当期末
(A) 資産	252,552,420円
コール・ローン等	11,038,834
投資信託証券(評価額)	241,513,586
(B) 負債	1,296,008
未払解約金	1,296,000
その他未払費用	8
(C) 純資産総額(A-B)	251,256,412
元本	187,122,440
次期繰越損益金	64,133,972
(D) 受益権総口数	187,122,440口
1万口当り基準価額(C/D)	13,427円

\* 期首における元本額は181,753,434円、当期中における追加設定元本額は99,259,092円、同解約元本額は93,890,086円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)187,122,440円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,427円です。

### ■損益の状況

当期 自2016年5月10日 至2017年5月8日

項目	当期
(A) 配当等収益	7,640,517円
受取配当金	7,644,655
支払利息	△ 4,138
(B) 有価証券売買損益	34,512,795
売買益	37,826,738
売買損	△ 3,313,943
(C) その他費用	△ 506,206
(D) 当期損益金(A+B+C)	41,647,106
(E) 前期繰越損益金	19,349,872
(F) 解約差損益金	△ 11,171,914
(G) 追加信託差損益金	14,308,908
(H) 合計(D+E+F+G)	64,133,972
次期繰越損益金(H)	64,133,972

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# 先進国 R E I T マザーファンド

## 運用報告書 第 4 期 (決算日 2017年 5 月 8 日)

(計算期間 2016年 5 月10日～2017年 5 月 8 日)

先進国 R E I T マザーファンドの第 4 期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）または店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ. 先進国のリート指数を対象指数とした E T F（上場投資信託証券） ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券
運用方法	①主として、先進国のリート、先進国のリート指数を対象指数とした E T F、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引および残存期間の短いわが国の債券に投資し、先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。 ※一部日本のリートを含む指数を対象とする E T F を組み入れる場合があります。 ②運用の効率化を図るため、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引を利用することがあります。このため、リートおよび E T F の組入総額ならびにリート指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

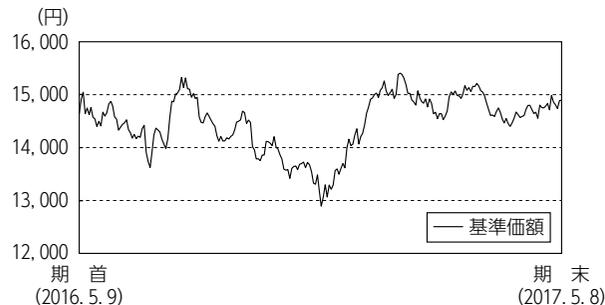
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース)		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%
(期首)2016年5月9日	14,638	—	15,281	—	97.4
5月末	14,871	1.6	15,641	2.4	96.7
6月末	14,238	△ 2.7	14,978	△ 2.0	97.0
7月末	15,020	△ 2.6	15,989	4.6	97.4
8月末	14,480	△ 1.1	15,358	0.5	97.3
9月末	14,004	△ 4.3	15,015	△ 1.7	97.2
10月末	13,306	△ 9.1	14,314	△ 6.3	97.2
11月末	14,235	△ 2.8	15,356	0.5	97.6
12月末	15,008	2.5	16,186	5.9	97.1
2017年1月末	14,640	0.0	15,865	3.8	97.4
2月末	15,158	3.6	16,394	7.3	97.5
3月末	14,670	0.2	15,856	3.8	97.3
4月末	14,809	1.2	16,209	6.1	83.1
(期末)2017年5月8日	14,893	1.7	16,214	6.1	97.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)は、S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかると誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,638円 期末：14,893円 騰落率：1.7%

【基準価額の主な変動要因】

海外リート市況は下落したものの、為替相場場で対米ドルを中心として円安が進んだことから、参考指数(S & P先進国REIT指数(除

く日本、配当込み、円ベース))が上昇した影響が大きく、当ファンドの基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外リート市況

海外リート市況は、アジアを除き米国等の金利上昇を受けて期を通じては下落しました。

米国およびカナダリート市況は、2016年5月下旬から、好調なリートの決算や堅調な雇用を受けた米国都市部の住宅価格上昇などが好材料となり上昇しました。しかし8月からは、米国の年内利上げ観測が強まったことから売られる展開となりました。その後は、11月にトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことを受けて、インフラ(社会基盤)投資や減税といった景気刺激策への期待を背景に緩やかな上昇に転じました。期末にかけては、トランプ政権に対する政策期待は根強いものの、利上げ懸念がくすぶり方向感のない動きとなりました。

欧州リート市況は、期首より、ドイツやフランスなどで英国のEU(欧州連合)離脱派の勝利後にオフィス移転期待などで一時買われた局面はありましたが、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和策縮小に対する思惑やイタリアの政治的混乱と不良債権問題を受けて、2016年10月以降は軟調に推移しました。その後も、長期金利の影響により一進一退の値動きとなりました。期末にかけては、フランス大統領選挙の初回投票の結果を受けた安心感で上昇しました。英国は、2016年6月の英国のEU離脱派の勝利によるオフィス需要の減少が懸念されたことから、大幅に売られました。2017年2月以降は、英ポンド安等により海外投資家から見た割安感が強まったことで買い戻されました。

アジア・オセアニアリート市況は、香港では、深セン・香港コネクト(深センと香港証券取引所の相互取引制度)の開始を期待した資金流入で、2016年6月から7月にかけて大幅に上昇しました。10月以降は、香港およびシンガポールで長期金利上昇の影響および中国政府が不動産市場の投機抑制に動いたことから軟調な推移となりましたが、2017年に入ると、自国金利が低下に転じたことなどを好感して上昇に転じました。オーストラリアは、期首から好調な住宅関連需要などを受けて上昇しましたが、2016年8月以降は長期金利が上昇基調だったことから軟調に推移しました。2017年に入ると、好調な国内景気を背景に買い戻されました。

○為替相場

為替相場は、米ドルは、2016年6月に英国のEU離脱派の勝利を受けて投資家のリスク回避の姿勢が世界的に高まり、対米ドルを含めて円は全面高となりました。その後しばらくは一進一退の動きが続きましたが、11月にトランプ米国大統領の政策への期待と米国の年内追加利上げ観測の高まりによる日米金利差拡大を背景に、円が売られる展開となりました。2017年に入ると、トランプ政権が日本を含めた通貨安批判を行なったことを材料に、緩やかな円高に転じて期末を迎えました。

ユーロは、米ドル同様2016年6月には円高が進みましたが、11月から12月には、原油および株高を背景としたリスクテイクの動きから円安となりました。2017年3月以降は、フランス大統領選挙の動向をにらんで一時欧州通貨は売られましたが、最終的にEUに肯定的な候補が大統領に選出されたことから、ユーロも買い戻されて期末を迎えました。英ポンドもほぼ同じ値動きとなりましたが、EU離脱派の勝利による英国経済への影響が懸念され、2016年6月に英ポンドが急落したことから、対円では期を通じては円高となりました。

オーストラリア・ドルは、相対的に高金利や資源価格が上昇に転じたことが好感を受けて、対円ではオーストラリア・ドル高で期末を迎えました。

## ◆前期における「今後の運用方針」

海外先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に日本を除く先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## ◆ポートフォリオについて

期を通じて原則として先進国リート組入比率を純資産総額の96～98%台として運用を行ないました。ポートフォリオの構築にあたっては、日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざしました。具体的には、一定以上の流動性がある S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本）構成銘柄の中から50銘柄程度を選定し、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、配当込み、円ベース）の値動きを考慮してポートフォリオを構築しました。結果として時価総額の大きいリートを主としたポートフォリオとなりました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

期を通じて、海外リート組入比率を基本的に96～98%台で推移させました。その結果、参考指数の上昇に対しマイナスの乖離が発生しました。

一方、配当金に対する課税分や保管費用等のコスト要因が、マイナス要因となりました。

なお、組み入れている流動性の高い海外リートポートフォリオと参考指数との騰落率の差異、参考指数とファンドの為替の評価基準のずれも、乖離要因としてあげられます。

## 《今後の運用方針》

引き続き海外の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託証券)	18円 (18)
有価証券取引税 (投資信託証券)	15 (15)
その他費用 (保管費用) (その他)	22 (21) (1)
合計	56

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況  
投資信託証券

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口 944.8 (3.42)	千アメリカ・ドル 49,371 ( )	千口 745.82 ( )	千アメリカ・ドル 37,803 ( )
	カナダ	千口 68.3 ( )	千カナダ・ドル 1,049 ( )	千口 53.3 ( )	千カナダ・ドル 778 ( )
	オーストラリア	千口 1,220.41 ( )	千オーストラリア・ドル 6,963 ( )	千口 917.95 ( )	千オーストラリア・ドル 5,180 ( )
	香港	千口 209.5 ( )	千香港ドル 11,382 ( )	千口 163.5 ( )	千香港ドル 8,644 ( )
	シンガポール	千口 1,399.2 ( )	千シンガポール・ドル 2,618 (△ 3)	千口 1,089.3 ( )	千シンガポール・ドル 1,986 ( )
	イギリス	千口 358.15 ( )	千イギリス・ポンド 2,737 ( )	千口 284.48 ( )	千イギリス・ポンド 2,327 ( )
	ユーロ (ベルギー)	千口 7.74 ( )	千ユーロ 823 ( )	千口 6.07 ( )	千ユーロ 643 ( )
	ユーロ (フランス)	千口 35.32 ( )	千ユーロ 2,965 ( )	千口 27.81 ( )	千ユーロ 2,261 ( )
	ユーロ (スペイン)	千口 56.85 ( )	千ユーロ 580 (△ 2)	千口 34.96 ( )	千ユーロ 370 ( )
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千口 99.91 ( )	千ユーロ 4,370 (△ 2)	千口 68.84 ( )	千ユーロ 3,275 ( )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2016年5月10日から2017年5月8日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	22.7	474,692	20,911	SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	17.8	356,162	20,009
PUBLIC STORAGE (アメリカ)	10.9	264,278	24,245	PUBLIC STORAGE (アメリカ)	8.5	212,759	25,030
PROLOGIS INC (アメリカ)	43.4	246,211	5,673	PROLOGIS INC (アメリカ)	34.3	196,767	5,736
UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)	8.81	232,282	26,365	UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)	6.94	181,951	26,217
AVALONBAY COMMUNITIES INC (アメリカ)	11.3	218,276	19,316	AVALONBAY COMMUNITIES INC (アメリカ)	8.6	172,837	20,097
WELLTOWER INC (アメリカ)	27.1	207,104	7,642	WELLTOWER INC (アメリカ)	21.2	162,697	7,674
EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	29.6	206,162	6,964	EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	22.9	161,448	7,050
VENTAS INC (アメリカ)	28.1	201,852	7,183	BOSTON PROPERTIES INC (アメリカ)	11	160,486	14,589
BOSTON PROPERTIES INC (アメリカ)	14	197,093	14,078	VENTAS INC (アメリカ)	22	155,240	7,056
VORNADO REALTY TRUST (アメリカ)	17.3	189,053	10,927	VORNADO REALTY TRUST (アメリカ)	13.4	153,589	11,461

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
外国投資信託証券

銘 柄	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
<b>(アメリカ)</b>				
AVALONBAY COMMUNITIES INC	1.2	3.9	751	84,749
SIMON PROPERTY GROUP INC	2.4	7.3	1,200	135,400
BOSTON PROPERTIES INC	1.6	4.6	569	64,255
APARTMENT INVT & MGMT CO -A	2.8	7.9	347	39,152
GGP INC	6.2	17	378	42,682
VORNADO REALTY TRUST	1.9	5.8	555	62,577
EQUITY RESIDENTIAL	3.2	9.9	648	73,095
HOST HOTELS & RESORTS INC	8.2	21.8	395	44,558
KIMCO REALTY CORP	5.4	14.8	295	33,270
COLONY NORTHSTAR INC-CLASS A	—	14.9	195	22,089
VENTAS INC	3.1	9.2	586	66,122
VEREIT INC	10.3	34.6	271	30,621
PROLOGIS INC	5	14.1	770	86,889
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1.3	3.8	436	49,194
CAMDEN PROPERTY TRUST	1.4	4.1	337	38,069
DDR CORP	6.6	—	—	—
DUKE REALTY CORP	5.7	15.5	431	48,701
ESSEX PROPERTY TRUST INC	0.7	2.1	525	59,276
FEDERAL REALTY INVS TRUST	0.9	2.9	385	43,411

銘 柄	期 首		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
WELLTOWER INC	3.1	9	628	70,823	
HCP INC	4.3	12	361	40,708	
KILROY REALTY CORP	1.8	4.5	321	36,279	
LIBERTY PROPERTY TRUST	3.1	9	369	41,611	
MID-AMERICA APARTMENT COMM	1.2	3.9	390	43,990	
MACERICH CO/THE	1.4	4.1	252	28,492	
REALTY INCOME CORP	2.5	8.1	458	51,705	
PUBLIC STORAGE	1.2	3.6	749	84,521	
REGENCY CENTERS CORP	1.8	5.5	344	38,859	
TANGER FACTORY OUTLET CENTER	3.2	8.2	234	26,467	
SL GREEN REALTY CORP	1.3	3.4	358	40,443	
UDR INC	3.6	11.1	421	47,528	
WP CAREY INC	2	5.8	361	40,802	
WEINGARTEN REALTY INVESTORS	3	8.9	293	33,101	
DIGITAL REALTY TRUST INC	1.6	5.5	625	70,570	
EXTRA SPACE STORAGE INC	1.4	4.2	308	34,750	
DOUGLAS EMMETT INC	3.3	9.1	350	39,467	
アメリカ・ドル	口 数、金額	107.7	310.1	15,914	1,794,242
通 貨 計	銘柄数 < 比率 >	35銘柄	35銘柄		< 70.3% >

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(カナダ)	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
COMINAR REAL ESTATE INV-TR U	8.1	23.1	323	26,686
カナダ・ドル □数、金額	8.1	23.1	323	26,686
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.0%>
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
SCENTRE GROUP	59.5	180.76	768	64,124
STOCKLAND	41.8	128.08	618	51,636
WESTFIELD CORP	21	66.21	592	49,462
GOODMAN GROUP	25.6	75.31	619	51,734
オーストラリア・ドル □数、金額	147.9	450.36	2,599	216,958
通貨計 銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄		<8.5%>
(香港)	千口	千口	千香港ドル	千円
LINK REIT	25	71	3,954	57,264
香港ドル □数、金額	25	71	3,954	57,264
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<2.2%>
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポール・ドル	千円
CAPITALAND MALL TRUST	71.2	222.6	434	34,795
SUNTEC REIT	95.4	253.9	446	35,820
シンガポール・ドル □数、金額	166.6	476.5	880	70,615
通貨計 銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<2.8%>
(イギリス)	千口	千口	千イギリス・ポンド	千円
LAND SECURITIES GROUP PLC	10.33	30.02	333	48,683
HAMMERSON PLC	14.14	45.19	265	38,821
BRITISH LAND CO PLC	14.16	39.51	261	38,271
DERWENT LONDON PLC	2.42	—	—	—
イギリス・ポンド □数、金額	41.05	114.72	860	125,776
通貨計 銘柄数<比率>	4銘柄	3銘柄		<4.9%>
ユーロ (ベルギー)	千口	千口	千ユーロ	千円
COFINIMMO	0.99	2.66	302	37,406
国小計 □数、金額	0.99	2.66	302	37,406
銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.5%>
ユーロ (フランス)	千口	千口	千ユーロ	千円
UNIBAIL-RODAMCO SE	0.97	2.84	652	80,647
KLEPIERRE	2.89	8.53	315	39,008
国小計 □数、金額	3.86	11.37	967	119,655
銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<4.7%>

銘柄	期首		当期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ (スペイン))	千口	千口	千ユーロ	千円	
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	—	21.89	240	29,794	
国小計 □数、金額	—	21.89	240	29,794	
銘柄数<比率>	—	1銘柄		<1.2%>	
ユーロ	□数、金額	4.85	35.92	1,510	186,856
通貨計 銘柄数<比率>	3銘柄	4銘柄		<7.3%>	
合計 □数、金額	501.2	1,481.7	—	2,478,399	
銘柄数<比率>	50銘柄	50銘柄		<97.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年5月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託証券	千円 2,478,399	% 96.7
コール・ローン等、その他	84,677	3.3
投資信託財産総額	2,563,077	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.74円、1カナダ・ドル=82.52円、1オーストラリア・ドル=83.47円、1香港ドル=14.48円、1シンガポール・ドル=80.16円、1イギリス・ポンド=146.10円、1ユーロ=123.68円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,490,465千円) の投資信託財産総額 (2,563,077千円) に対する比率は、97.2%です。

# 先進国 R E I T マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,587,979,002円</b>
コール・ローン等	79,672,641
投資信託証券（評価額）	2,478,399,246
未収入金	25,540,908
未収配当金	4,366,207
<b>(B) 負債</b>	<b>36,997,382</b>
未払金	31,895,259
未払解約金	5,101,600
その他未払費用	523
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,550,981,620</b>
元本	1,712,907,275
次期繰越損益金	838,074,345
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,712,907,275口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	14,893円

\* 期首における元本額は599,240,214円、当期中における追加設定元本額は5,600,472,149円、同解約元本額は4,486,805,088円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、先進国 R E I T（為替ヘッジなし）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）19,765,754円、ダイナミック・アロケーション・ファンド（適格機関投資家専用）942,019,944円、先進国 R E I T ファンド（適格機関投資家専用）513,167,032円、リゾな ダイナミック・アロケーション・ファンド44,067,595円、堅実バランスファンド－ハジメの一步－28,258,780円、D Cダイナミック・アロケーション・ファンド2,668,108円、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）162,960,062円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,893円です。

## ■損益の状況

当期 自2016年5月10日 至2017年5月8日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>105,239,220円</b>
受取配当金	105,283,333
受取利息	14,634
支払利息	△ 58,747
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>126,004,139</b>
売買益	473,907,600
売買損	△ 347,903,461
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 4,721,371</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>226,521,988</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>277,949,380</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 2,086,495,274</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>2,420,098,251</b>
<b>(H) 合計（D＋E＋F＋G）</b>	<b>838,074,345</b>
次期繰越損益金（H）	838,074,345

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。